

トムソン・ロイター

エンハンスド・デューデリジェンス (EDD) レポート

取引先を知りサプライチェーンコンプライアンスを確保する



お問い合わせ

トムソン・ロイター株式会社

リスク&コンプライアンス

〒105-6210
東京都港区愛宕2-5-1 愛宕グリーンヒルズ MORIタワー 10階

Mail marketingjp@tr.com Web thomsonreuters.jp



知らないことのリスク

ある個人の過去または現在の商取引の履歴を知らないまま、その個人との間で契約や取引関係を結んでしまうと、組織に重大なリスクがもたらされる可能性があります。

マネーロンダリング対策、汚職行為防止、贈収賄など、法令違反に気付かないというだけで、場合によっては、ひどい結果を招くことにもなりかねません。これらの法律については、違反企業のその後の取得オーナーにまで影響が及びます。法人に有罪判決が出されると、罰金、不当利得の吐き出し、副次的な民事訴訟などに結びつき、不適切な報酬として申し立てられた金額の数倍にも及ぶ損害が生じます。

行政当局は、経営幹部をターゲットにし、個人を対象とした罰金や収監を求めています。法的な問題や財政的な問題を別にしても、これは企業ブランドに取り返しのつかないダメージを与えることになります。



どの段階でもっと知る必要があるのか

このような潜在的な脅威について理解するには、背景と清廉さのチェックが不可欠になります。ただし、効果的なデューデリジェンスのために広範囲の情報を集めるのは大変で、同時に時間もかかります。特に取引関係が海外に及ぶ場合や、関連する情報が、調査員が簡単に理解できない言語で提供されている場合などは特に難易度が増します。

エンハンスド・デューデリジェンス(EDD)レポートでは、潜在的な取引相手について、かなり詳細に精査が行われ、地政学的な分析やバッチスクリーニングのレベルでは検出できないリスクが明らかにされます。デューデリジェンスについて検証可能な証拠が提出されるため、法的義務に準拠する上で大きな力になります。

エンハンスド・デューデリジェンス(EDD)レポートは、次のような法律への準拠の目的で、広く使用されています。

- 連邦海外腐敗行為防止法 (FCPA)
- 英国贈収賄 (UKBA)
- マネーロンダリング対策 (AML)
- 米国愛国者法
- テロ資金供与防止対策 (CFT)



詳細な情報

企業、その所有者、その業務履歴や訴訟履歴だけでなく、主要な管理職や意志決定者についても焦点を当て、背景、実績、能力、潜在的な利害対立、政治上・犯罪上の繋がりに関するインサイトを提供します。事業活動や評判の履歴も分析し、隠されている負債についても徹底的に調査します。更なる詳細情報を業界ウォッチャーから得ることも可能です。

エンハンスド・デューデリジェンス(EDD)レポートは世界中の組織が、デューデリジェンスプロセスを強化し単純化して、ブランド毀損を防止する目的で利用していますが、レポートの納期が短く、しかも低コストであることから、各社に、時間の大幅な短縮と経費の大幅な削減をもたらしています。

一般的な使用事例：

- 汚職行為防止プログラム (FCPA、UKBA など)
- サプライチェーンの安全性確保
- AMLデューデリジェンス
- 合併、買収、合併事業の準備
- 純資産が多い顧客または注目されている顧客のオンボーディングのとき
- 自動リスクスクリーニングでリスクが明らかになったとき
- 地政学的なリスク分析で、取引または個人に、ハイリスクの国との繋がりが見つかったとき
- 包括的なコンプライアンスプログラムの主要な構成要素として
- リソースを拡大する際に、既存のコンプライアンスプロセスを強化するため

エンハンスド・デューデリジェンス (EDD) とは何か？

顧客ライフサイクル



エンハンスド・デューデリジェンス (EDD)

リスクレーティングに基づくKYCリフレッシュサイクル



Know Your Customer



何か？

- リスクの高いと判断した顧客および大型の金融取引のために作成された顧客管理プロセスです。
- 当該企業、団体、組織および個人について対応を具体的に判断できるよう、より多くの情報を収集、**包括的に調査**します
- 有害事象の影響とリスクに関する分析とともに、関連するすべての有害情報を考慮します。
- リスクの高い対象者については、**実質的支配者、資金の源泉、関係者の特定**が、その対象者に関連するリスクを軽減する上で重要な要素になります。

なぜか？

- グローバルな金融規制当局は、**ハイリスクな顧客 / 取引先**、PEPs (外国の政府等において重要な地位を占める者) の、特に重要な公的な機能を任されている (いた) 個人、**ハイリスクな司法管轄、大型 / 異例な取引**を行う当事者について EDD を実施することを義務化しています。
- マネーロンダリングを効果的に防止し、テロ資金供与防止政策に準拠するため、リソースと労力をよりリスクの高いものに集中させます。
- EDD は **最終的な実質的支配者** および **資金の源泉** を正確に識別するための唯一の方法です。
- EDD は **総合的なリスクの理解** に役立ち、有害な組織、団体、企業 / 個人 / ネットワークに関連した **レピュテーションリスク** にも対処するものです。



TRSSI – スペシャルサービス

■ TRSSIは、企業にとってのデータの重要性を誰よりも理解しています。

収集

専門技能を有するアナリストが、トムソン・ロイターやサードパーティが保有する膨大なグローバルデータセットを活用し、重要なデータポイントを特定・収集します。

検証

集められたデータは、信頼性と評価の高いソースに照らし合わせて検証され、TRの統合QA（品質確認）プロセスに入ります。

スコープ設定

専門技能を有するデータアナリストが、主要なステークホルダーと協力して、正しいスコープを識別することにより、プロジェクトの計画の改善、収益の増加などに繋がります。

ガバナンス

TRSSIプロジェクトには、データ品質を保証しながら、同時に各国の個人情報保護法に準拠できるようにするため、厳格なデータガバナンスが組み込まれています。

セキュリティ

TRSSIの高度な専門ITセキュリティチームによってデータが保護され、市場をリードするサイバーセキュリティ技法を利用して、必要に応じ、データが安全に保護された方法で転送されるようにしています。

莫大なグローバルデータソース

- トムソン・ロイターが所有する特異で膨大なグローバルデータコレクションは、当社のブランドを裏付ける大きな基盤でもあります。
- トムソン・ロイターは、経験豊富な世界中のメディアの利用と提供におけるグローバルリーダーであり、ロイターのコンテンツに対して独占権を持っています。

UBOおよび資金の源泉

- ハイリスクな案件の実質的支配権および資金の源泉を正確に識別できることは、その案件に関連するリスクを軽減する上で重要な要因になります。

エンティティ解決能力の強化

- 私たちの比類のないカスタムビルトのテクノロジーにより、個別のデータソースの広範なライブラリーをまとめ上げ、もっとも利用価値の高いデータと、それに関連するコネクションを確実に取得します。

TRSSI Capricorn ナリッジグラフ

- ロイターが持つユニークで最高水準のビジネス・金融犯罪データ、および、その他広域なプレミアム・データベースのライブラリー。
- 専門家による分析サポートと洞察力が、大きな差を生み出します。
- 金融サービスに関する豊富な専門性を生かしてカスタムビルトされた独自のテクノロジー。
- AI搭載のメタデータ拡張ネットワーク分析システムにより、リスクのある取引先のネットワークが明らかになり、現実的な顧客リスクの識別を迅速に行えるようになっています。

TRSSIでしか実現できない、マネーロンダリングネットワークの分析、コンプライアンス遵守の支援、リスクの最小化などをするための、効果的な新しい方法です。

なぜ Thomson Reuters Enhanced Due Diligence レポートなのか？

法的、機密的、倫理的

倫理的で非侵襲的な調査方法のみを採用しており、清廉さと説明責任の原則に従って行動しています。案件対象は、デューデリジェンスレポート調査について気付かず、調査のアサインメントを行っているときに調査活動が露見することはありません。



公然および秘密の情報源

レポートは、さまざまな公的な補強情報源と秘密の情報源を基にして作成されています。情報源には、地域のメディアや国際的なメディア、地域の規制機関や国の規制機関、法廷記録なども含まれます。



費用対効果の高いデューデリジェンス

エンハンスド・デューデリジェンス（EDD）レポートでは、深遠な調査が行われると同時に包括的な性質を持っているにもかかわらず、そのアプローチは費用対効果が高だけでなく、透明性も高くなっています。レポートの準備を外注したりしないため、価格上昇に繋がるような関連費用は発生しません。



短いターンアラウンドタイム

精巧なワークフローとグローバルなインフラのために、エンハンスド・デューデリジェンス（EDD）レポートは、品質を犠牲にすることなく、短時間で作成されます。納期は明確に予測でき、一貫性がある上、短期間です。レポートは、10営業日以内に提出され、場合によってはわずか24時間で完成することもあります。



グローバルなカバレッジ、ローカルな知識

トムソン・ロイターのリサーチアナリストは、戦略的に世界中に配備されており、60以上の言語に対応しています。レポートに含まれるほとんどの情報は、関連する国の主要なデータソースからもたらされたものであり、そこで普及している現地語によるものです。現地語を母語として話すアナリストが、多言語の話者にわからないようなテキストの機微まで拾い上げています。



社内の技能のみ

デューデリジェンスのレポート作成およびリスク情報の収集は、独自のリサーチアナリストを使用することで、すべて社内準備されています。このため、一貫した高品質のアウトプットを迅速に行い、費用も抑えることができます。所有する機密情報が漏れる危険性もありません。



品質へのフォーカス

詳細な背景チェックに関して高度な専門性を有し、発見しづらい情報をどこで見つけることができるか把握しています。提供情報の重要性を理解し、同時にすべての調査は、厳格なサービスレベルを維持し、厳格な品質管理を行った上で実施されています。



新興市場での強み

トムソン・ロイターは新興市場およびフロンティア市場で、最初にデューデリジェンスレポートを提供した企業の1つで、長年に渡って、この分野で高度な専門性を築いています。



TRSSI EDD サービス

企業データ

- ・企業の登記書類
- ・企業の法律文書
- ・企業の司法管轄
- ・子会社

制裁リスト

関連するすべての主要人物および株主、子会社、支社で実施されたチェック

所有権データ

- ・実質的支配者
- ・株主情報
- ・株主のプロファイル

法務データ

- ・進行中の訴訟手続きの識別
- ・判決の結果についての分析

アドバースメディアデータ

- ・すべてのリスクタイプロジーにおけるアドバースメディア
- ・識別された過去のアドバースメディア



主要人物データ

- ・全体の管理構造
- ・政治的な重要性
- ・主要人物のプロファイル

企業のEDD

- ・企業体にフォーカスしたEDD
- ・重役、株主、UBOの識別
- ・制裁 / PEP / 訴訟 / アドバースメディアスクリーニング

個人のEDD

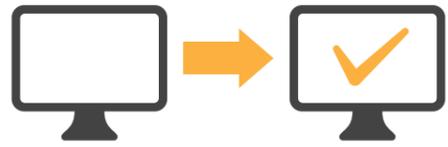
- ・個人にフォーカスしたEDD
- ・所有権、管理職、関連当事者の識別
- ・資金の源泉の識別
- ・制裁 / PEP / 訴訟 / アドバースメディアスクリーニング

事項チェック

公開企業について、判明 / 識別済みの別名に対するすべての変名バリエーションを検証	✓
アドバースメディアについて、判明 / 識別済みの別名に対するすべての変名バリエーションをチェック	✓
OFAC、HMT、EU、UNなどの制裁リストに載っていないか、判明 / 識別済みの別名に対するすべての変名バリエーションをチェック	✓
政治的に重要な人物でないか、判明 / 識別済みの別名に対するすべての変名バリエーションをチェック	✓
過去または現在進行中の刑事訴訟 / 民事訴訟手続きについて、判明 / 識別済みの別名に対するすべての変名バリエーションをチェック	✓
規制措置について、判明 / 識別済みの別名に対するすべての変名バリエーションをチェック	✓
エグゼクティブリスクサマリーおよび分析	✓
公式の商業登記および会社のバックグラウンド分析	✓
管理職の識別	✓
主要人物について PEP / 制裁 / アドバースメディア / 訴訟 / 規制をチェック	✓
識別されている重役についての SOW 分析	✓
実質的支配者に至るまでの、完全な所有権についての識別	✓
子会社について PEP / 制裁 / アドバースメディア / 訴訟 / 規制をチェック	✓
識別されている株主についての SOW 分析	✓
すべての子会社の識別	✓
子会社および個人について PEP / 制裁 / アドバースメディア / 訴訟 / 規制をチェック	✓
子会社および個人の識別	✓
子会社について PEP / 制裁 / アドバースメディア / 訴訟 / 規制をチェック	✓
分析済みの完全なネットワークグラフ	✓

納期 5~20 営業日

エンハンスド・デューデリジェンス (EDD) レポートのライフサイクル



1 レポートの受注

- EDD チームに調査依頼を提出。
- アカウントディレクターまたは担当のケースマネージャーが、この依頼の背景について理解するため、依頼主に連絡します。
- エンハンスド・デューデリジェンスのレベルが決まります (Premium レポートや Standard レポートなど)。



2 レポートケースの作成

- ケースマネージャーが、社内ワークマネジメントオンラインシステムでプロジェクトを開始します
- ケースマネージャーが、作業のスコープとレベルが合意済みであること、必要な付属文書の使用について確認し、プロジェクトの締切日と予算を確認します。

1

2

3



5 予備調査の実施

- 次の事項について予備チェックを行います。
 - 正しい法人 (レポートの案件) を識別できているかを確認します。
 - 対象会社の公式プロフィールに基づいて、アサインメントに必要な時間を評価します。
 - 当該地域の法人登記局に登録文書を発注します。

5

4

4 各ケースをリサーチアナリストへの割り当て

- リサーチマネージャーが、プロジェクトをリサーチアナリストに割り当てます。
- プロジェクトが複雑で、現地語での調査や現地調査が必要な場合、サポートチームに通知されます。
- インタラクティブなワークマネジメントシステムによって、それぞれのチームが締切を理解できるようになっており、短い納期で、協力しながらそれぞれ異なる箇所に対応することができます。



6 詳細調査の実施

- リサーチアナリストが、次のようなパブリックドメイン調査から開始します。
 - 案件に対する公開済みのすべての名前を示す包括的で網羅的なリストを用意し (スペリングのバリエーション、旧名、別名など)、これらの名前のすべてについて、ニュースとアーカイブ内容をチェックします。
 - 最新の登録情報を集めて、企業の登記書類を分析します。
 - 案件とその評判の完全なプロフィールを作成するため、新聞記事を検討して、関連する情報を分析します。
 - Global Compliance Checks データベースと制裁リストをチェックし、関連する司法管轄のカンントリーリスク指標を確認します。
 - 訴訟記録のデータベース、破産チェック、その対象エンティティが拠点を置く国に特有の法執行情報などを使用して、詳細なチェックを行います。
- フォールスポジティブを一掃し、追加の調査があればそれを実施します。

6

7



レポートの草稿作成

- リサーチアナリストのレポートの草稿が、ビジネスインテリジェンスの現場調査の結果を反映して検討、分析されます。
- リサーチアナリストが、レポートを自ら再検証し、スペルチェックを行ってから、リサーチスーパーバイザーに提出し、審査を受けます。



9

ケースマネージャーによる審査と顧客への提出

- ケースマネージャーの審査が終わると、レポートは EDDO 経由または暗号化した Eメール経由で顧客に提出されます。

8

リサーチスーパーバイザーによる審査

- リサーチスーパーバイザーは、草稿レポートを審査し、関連するすべての文書が安全なサーバー上におかれていることを確認します。
- ほとんどのプレミアムレポートに加え、複数の場所での調査が必要だった複雑なレポートや、重要な情報が含まれ詳細な分析が必要だった複雑なレポートの場合、リサーチマネージャーも審査プロセスに関わります。



調査チームの割り当て

- プロジェクトに、固有のケース参照番号 (CRN) が割り当てられます。
- ケースマネージャーは、各チームの言語に応じて、そのプロジェクトを 11あるグローバル調査チームのうちの1つのチームに割り当てます。

レポートの比較

個別のレポートに含まれる調査項目			
Lite	Lite Plus	Standard	Premium
<ul style="list-style-type: none"> 正確名称のチェックのみ 	<ul style="list-style-type: none"> 正確名称のチェックのみ 	<ul style="list-style-type: none"> 判明 / 識別済みの別名に対するすべての変名バリエーションのチェック 	<ul style="list-style-type: none"> 判明 / 識別済みの別名に対するすべての変名バリエーションのチェック
<ul style="list-style-type: none"> 英語のネガティブメディアおよびインターネットデータベースのチェック 	<ul style="list-style-type: none"> 英語および現地語のネガティブメディアおよびインターネットデータベースのチェック 	<ul style="list-style-type: none"> 英語および現地語のネガティブメディアおよびインターネットデータベースのチェック 	<ul style="list-style-type: none"> 英語および現地語のすべてのメディアおよびインターネットデータベースのチェック
<ul style="list-style-type: none"> グローバルコンプライアンスチェック 	<ul style="list-style-type: none"> グローバルコンプライアンスチェック 	<ul style="list-style-type: none"> グローバルコンプライアンスチェック 	<ul style="list-style-type: none"> グローバルコンプライアンスチェック
		<ul style="list-style-type: none"> 公式の商業登記の取得と企業の背景分析 	<ul style="list-style-type: none"> 公式の商業登記の取得と企業の背景分析
		<ul style="list-style-type: none"> 個人の事業利益のチェック、管理職のチェック、個人の背景分析 	<ul style="list-style-type: none"> 個人の事業利益のチェック、管理職のチェック、個人の背景分析
		<ul style="list-style-type: none"> 訴訟のチェック 	<ul style="list-style-type: none"> 訴訟のチェック
		<ul style="list-style-type: none"> 破産のチェック 	<ul style="list-style-type: none"> 破産のチェック
		<ul style="list-style-type: none"> 規制のチェック 	<ul style="list-style-type: none"> 規制のチェック
			<ul style="list-style-type: none"> エグゼクティブリスクサマリーおよび分析
			<ul style="list-style-type: none"> ビジネスインテリジェンスおよび評判の発信元の探求
			<ul style="list-style-type: none"> UBOの解明 - 相当な割合の企業株式を保有しているすべての自然人の識別

